

2026
vol.72
4

HAREBARE

晴ればれ

特集／

祝 JA広報大賞を
いただきました!

これからも組合員・地域とともに

生産部会紹介／
びほく桃部会

広報1年生が行く／
女性部 津山地区
家の光クッキング・フェスタ～食のつどい～
直売所だより／
アグリびぜん

父はよき先輩で指導員 子にも農業のよさを見せたい



祖父から続く農家に育ち、就農4年目。当初、青ネギを主力にスタートしたものの、農業の厳しさに直面しました。

昨年からは、父の万澄さんが営む果実園でイチゴの栽培を習得中で、品目転換を視野に、自分なりの道を模索しながら作業に励んでいます。

就農のきっかけ

万澄さんの姿を見て「父を手伝いながらいずれは農業をしたい」との想いを抱きました。快く承諾してくれたのが妻の紗樹さん。家族への感謝を込め、果実園を子どもの名前にちなみ「ふあーむ都」と名付け、家業を継ぐために就農に踏み切りました。

家族への思い

会社員の頃は交代制の仕事についていたこともあり、家族との生活時間にズレがありました。「今は子どもたちとの時間が取れるようになった。自分が育てたイチゴを家族が笑顔で食べる姿を見られるのはうれしい」と政孝さんの顔がほころびます。

若手生産者を紹介

ふあーむ都(倉敷市福田町)
みやけ まさたか
三宅 政孝さん (41)

笑味ちゃん
天気予報
でも紹介



万澄さん(左)の横につき作業を学ぶ

父はよき先輩で指導員 子にも農業のよさを見せたい

父の壁を乗り越えたい

父とは別の品目でスタートしたのは「対抗心があり、あえて違うもので勝負して自分で何かをやりとげ、認めてもらいたかった」からです。しかし、父のもので勉強して気付いたことは「壁は高く、自分ができることは一割程度だった」と振り返ります。よき先輩で指導員と仰ぐ父に追いつこうと奮闘しています。

農業のよさを子に見せたい

この春には「紅ほっぺ」「晴苺」に加え、甘く果肉のしつかりとした「スターナイト」を収穫し、販売を始めました。5月いっぱいまで続きます。夢は「しっかりと農業ができる環境を築いてくれた父のように、自分の子どもに後を継ぎたいと思ってもらえるよう、農業のよさを見せていきたい」と先を見据えます。

このページのお問い合わせは倉敷アグリセンター(086-4441044)まで

第39回 JA広報大賞

令和7年度 JA広報大賞

祝

JA広報大賞を

いただきました！

これからも組合員・地域とともに



全国のJAの広報活動を対象とした第39回JA広報大賞で、JA晴れの国岡山が総合の部で大賞を受賞しました。

2月27日に東京都内で表彰式がありました。式では審査委員長の昭和女子大学現代ビジネス研究所特別研究員の稲澤裕子氏から「1次審査・2次審査・現地審査を重ね、組合員・役員が一体となった組織的な広報活動の実践が高く評価できる」と審査講評がありました。JA全中の山野徹会長より盾、併せて日本農業新聞より「日本農業新聞賞」が授与されました。

受賞のことば

私たちJA晴れの国岡山は、広域合併から6年を迎えました。合併以降、それぞれの地域のよさや強みを大切にしながら、「一つのJA」としての姿を、少しずつ形にしてきたところです。

今回の受賞は、日頃から支えてくださっている組合員・地域・関係機関のみならず、そして現場で工夫を重ねてきた職員一人ひとりの取り組みの積み重ねの結果だと思っています。あらためて、心から感謝申し上げます。広報とはただ情報を伝えるだけのものではなく、想いを伝え、信頼をつなぎ、地域と一緒に歩んでいくための大切な活動だと考えています。この6年間、そ

うした想いで続けてきた取り組みを評価していただけたことは、私たちにとって大きな励みになりました。

想いを伝え、信頼をつなぎ、 地域と一緒に歩む

ただ、この賞はゴールではなく、また次に向かうためのスタートだと思っています。農業を取り巻く環境が変わる中で、JAに求められる役割、そして広報に求められる役割は、これからますます大きくなっていくはずで、これからも地域の魅力や農業の価値、組合員のみならずの想いを誠実に、そしてできるだけ分かりやすく、心に届く形で伝えていきます。

代表理事組合長 内藤 敏男

内藤 敏男

東京都内で開かれた受賞式で受賞をよるこぶ内藤組合長(左)。総合の部での大賞受賞は県内初

これまでの広報とのかかわり、思い出、今後への期待などを聞きました



みやまひろみ つやま青壮年部 宮尾 廣実 部長

創刊間もないころ、私の住む地区の棚田を取り上げてもらい、大変身近に感じています。また、広域のJA管内のさまざまな作物や農家さんの取り組みの紹介などを読むたびに、自らも頑張ろうという意欲が湧いてきます。今後も元氣な産地の情報を楽しみます。



広報大賞の受賞、本当におめでとうございませう！いつも広報誌を楽しく拝読しています。一番の思い出は、総会で新しい役員の写真撮影を撮っていた時のことです。広報担当者の方がとても和やかに声をかけてくださったおかげで緊張がほぐれ、みなですてきな笑顔の写真が撮れました。これからも私たち女性部の活動をたくさん紹介していただけるとうれしいです。JA晴れの国岡山女性部 三吉 孝美 部長



JA晴れの国岡山フレッシュコミュニティ支部会 松尾 早耶香 部長
広報誌に活動が掲載されると、いつも義母が「載ってるぞ！」と手渡してくれます。知人からも「見たよ」おもしろそうなお知らせがきつかけられます。記事がきつかけでフレッシュに入った人もいて、部会のことを知ってもらい、仲間づくりにつながっています。これからも取材をお願いします！



広報ツールのご紹介

RSK山陽放送

テレビ番組

「笑味ちゃん天気予報」



最新の農業に関する情報やJAの活動を伝えています



ホームページ

准組合員・地域住民むけに食と農の魅力をお届けしています

准組合員むけ情報紙



パブリシティ

(報道機関を通じた発信)



トップセールス



「おかやまぐるり国消国産ラジオ」

農業新聞



各社報道機関の力も借りて、地産地消や国消国産・農畜産物をPRしています

農業の県民理解に感謝
 県副知事に報告

内藤敏男組合長ら丁A関係者は、3月上旬、県の尾崎祐子副知事を表敬訪問し、受賞を報告しました。広報活動を通じて地域の食と農業に対する県民の理解醸成に感謝の意を表明。尾崎副知事は「表紙を若手農家が飾り、もうかる農業が伝わってくるようで好感を持てる。農業への理解が広がるよう期待している」と激励しました。



受賞の喜びを報告した内藤組合長(前列 右)

読者のみなさまからも
 メッセージをいただきました!

今後も農業と暮らしを支えてください。

県内のさまざまな農産物を知ることができてうれしいです。自分の町が取り上げられているとさらにうれしいです!

40年以上前、広報誌の表紙を飾ったことがあります。両親と出掛けた着物の展示会で試着中に撮影してもらいました。メインは着物だったので後ろ姿でしたが、今でもいい思い出です。

カラーでとても読みやすく、農家のことが伝わってきます。これは関わってこられた方々の努力の賜物です。これからも楽しみにしています。

県内の農家のみなさんの活躍を見て「自分も農作業を頑張ろう!」と、やる気もらっています。

登録は裏表紙の
 二次元バーコードから!

この機会にぜひ
 フォロー・登録を
 お願いします



SNS

JAの最新情報を
 手軽に気軽に楽
 しめるコンテ
 ンツが満載です



広報担当者より

合併によりエリアが広がったことで、情報収集や多様なニーズへの対応に苦勞もありました。お便りやアンケートなどで寄せられたみなさまのご意見や応援の声がよりよい広報づくりの糧となっています。

受賞はいつも応援いただいているみなさまのおかげです。これからも地域に根ざした協同組合として、農業やJAを身近に感じていただける広報活動に取り組んでいきます。



園児ら(左)にモモの花をプレゼントしました



地域とのつながりを大切に栽培に励みます

生産部会 紹介

びほく桃部会

概要

地域	高梁市
部会員数	69人
栽培品種	清水白桃・白鳳・おかやま夢白桃など
栽培面積	12 ha
出荷時期	7月上旬～9月中旬
目標出荷量	80t
目標販売金額	4,200万円

栽培スケジュール

白桃

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
整枝・せん定		摘果	授粉	摘果・袋掛け		収穫				整枝・せん定	
土壌改良			芽かき・ねん枝		夏季せん定		礼肥		基肥		土壌改良

部会長にインタビュー にしえ まさゆき 西江 正行 部会長



■部会の特徴

小規模農家を中心に構成し、「清水白桃」「白鳳」「おかやま夢白桃」などを栽培しています。仲間と協力して声をかけ合い相談できる体制を整え、産地の維持・拡大に努めています。特産を知ってもらおうと、2016年からひな祭りに合わせて市内こども園などにモモの花を配布する取り組みを行い、地域とのつながりを大切にしています。

■部会の取り組み

安定出荷と農家所得増大につなげるため、基本を重視した栽培管理、畑の土づくりや排水対策などに力を入れます。古い樹を植え替え、産地を

若返らせるとともに、新規栽培者の確保にも取り組みます。

2023年から毎年7月に、JA直売所「高梁グリーンセンター」と「神楽の里」で「桃まつり」を開いています。生産者が前に出てPRしています。認知・消費拡大を目指すため、1玉でも多く高品質なモモを出荷して消費者のもとへ届けたい、そんな想いで一丸となって栽培に励んでいます。

■これから始める方へ

授粉や摘果など作業の時期に合わせて研修会を開き、技術を習得できる体制を整えています。1つひとつの積み重ねを大切に、品質のよいモモを一緒に作っていきましょう。

水稻の高温対策を実施しましょう

一年を通じて、できることから取り組みましょう

健苗を植える

老化・軟弱徒長苗にしないよう、計画的に播種し、温度・水管理を徹底しましょう。



根傷みさせない

常時湛水は、根傷みの元。活着後は、間断かんがいを励行しましょう。



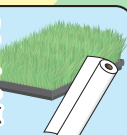
肥料切れさせない

幼穂形成期以降、想定より葉色が低下している場合は、追肥しましょう。



育苗準備の確認

種子更新、塩水選、種子消毒は万全に。育苗資材の消毒や点検も行いましょう。



土づくり資材を入れる

窒素、リン酸、加里以外の微量元素の補給のため、土づくり資材を入れましょう。



できるだけ深耕する

根の発育促進、養分吸収能力向上のため、できるだけ深耕しましょう。15cm



かけ流し、夜間かん水

出穂期以降は、支障のない範囲で、かけ流しや夜間かん水を行いましょう。



適期防除する

病害虫の発生状況をよく観察し、適期を逃さないよう防除しましょう。



落水はできるだけ遅く

作業に支障のない範囲で、落水は出穂後30日頃以降まで我慢しましょう。



堆肥、緑肥を活用する

堆肥や緑肥により地力が向上し、猛暑でも作柄が安定している事例があります。



稲わらは秋にすぎ込む

稲わらは地力の源。春までに分解を進めておくためには、秋にすぎ込みましょう。



適期収穫する

想定外の生育前進があるかも。刈り遅れに注意しましょう。



⚠️ 高温耐性品種も、高温対策は必要です ⚠️

収量・品質を安定させるため、品種特性に応じた肥培管理を行い、適期作業に努めましょう。



◀ 対策のポイントはこちら
【岡山県ホームページ】



トラクター使用前
安全確認チェック

- ヘルメット着用
- シートベルト着用
- 安全キャブ・フレームを使用

農作業が本格化する時期は、農業機械による事故が増える傾向があります。作業に入る前に、機械の点検や安全装備の確認を必ず行いましょう。特にトラクターなどの農作業用特殊車では、路外逸脱や転倒による死亡事故が多く発生しています。自分の命を守るため、日頃から安全対策を心がけ、無理のない作業を行いましょう。

徹底しましょう
農作業前の安全確認を

STOP
農作業事故



和牛子牛セリ市況

(JA全農おかやま総合家畜市場)

2月13日 成績

性別	頭数	最高価格(税込)	平均価格(税込)	平均体重
雌	101	897,600円	755,983円	294kg
去勢	93	1,053,800円	838,342円	321kg
総合	194	1,053,800円	795,464円	307kg

※全国的に多くの市場が相場を上げる中、今回の市場でも雌牛、去勢牛ともに平均価格が3万円以上高くなり、4ヵ月連続の相場上昇となりました。総平均価格は前年同期より約23万円高い高相場となっています。

直売所出荷者募集 旬感広場「晴れのち晴れ」

旬感広場「晴れのち晴れ」の出荷会員を募集しています。詳しくは下記コードをご覧ください。

【お申し込み・お問い合わせ先】
0866-93-2338(9時~16時)



8つの地区を毎月リレーでつなぎます

全地区



若い世代にもっと発信を元気づけようへ対話集会



▲意見を交わす女性部(左)と役員

女性の声を組織運営にいかし地域の活性化につなげようと、1月下旬、JA役員との対話集会を開きました。

8地区の女性部長・フレッシュユミズ部長のほか、常勤理事・女性理事ら合わせて30人が参加。部員減少が課題となっている状況を踏まえ、地域社会への一層の貢献と部員増強の2つのテーマを4班に分かれて議論しました。

地区の枠を超えた活動の展開や、子どもむけの食農体験を通じた保護者への周知、地域住民も巻き込んだ取り組みなど、さまざまなアイデアを出し合いました。若い世代には活動が十分に伝わっておらず、「イベントの参加がきっかけになり、女性部に入りたい」という声もあり、活動の目的や意義を積極的に発信し、時代に合った組織づくりを求める意見も上がりました。

三吉孝美部長は「日頃の活動を役員に知ってもらうよい機会となった。今日の意見を地域活性化にいかしたい」と話しました。

内藤敏男組合長は「さまざまな事業で女性部の力に助けられている。しっかり議論を重ねていきたい」と話しました。

参加者に甘酒振る舞う 2026そうじゃ吉備路マラソン



岡山西地区



▶地元産米を使った手作り甘酒を提供



▲笑顔で甘酒を手渡した

吉備路ブロックは、2月22日「2026そうじゃ吉備路マラソン」で、参加者に甘酒を振る舞いました。大会運営に毎年、協力しています。役員ら10人が1週間前から準備。地元産米を使い、こうじから手作りし、約4000人分を仕込みました。すりおろしたショウガも用意し、好みに合わせられるよう細やかな心配りをしました。

当日はJA職員も参加。走り終えた人に労いの言葉をかけ温かい甘酒を手渡し、体と心をいやしました。

参加者は「程よい甘さでおいしい。疲れた体にうれしい」と笑顔で飲み干しました。阿部和子部長は「手作りの甘酒で疲労回復してほしい。これからも地域に貢献していく」と話しました。

あなたも女性部に入って活動に参加してみませんか 詳しくは

このページに関するお問い合わせは経済部(086-476-1838)まで



「広報1年生」が行く!

広報1年目の担当者が毎月、各地の女性部活動を紹介します

津山地区 家の光クッキング・フェスタ～食のつどい～ マナーよく地元産をいただきます



▲地産地消と食への理解を深めました



▲汁椀のフタを丁寧に開けます



さかもと
広報担当 坂本

津山地区で開かれた「家の光クッキング・フェスタ」食のつどい」に参加し、和食マナーを学びました。

地産地消に理解を深め、作り手への感謝を育むイベントです。講師はライフサポーター Dreamの武富美恵子さん。箸と懐紙の正しい使い方、器の持ち方などを学びました。美しい姿勢と箸使いを意識し、地元産の野菜を使ったけんちん汁やおにぎりを味わいました。お椀を持ちつつ箸を取り上げる所作に悪戦苦闘しました。勉強になることが多く、所作の一つひとつに意味がありました。

杉山多美子部長は「美しく食事をすることで、農畜産物の作り手に感謝の気持ちを表すことができました。一人ひとりが自分らしく活躍できる活動を通じて仲間づくりを進めたい」と話します。

同地区では防災教室やスマホ教室のほか、市内の小学校に花の寄せ植えをするなど、地域住民が豊かに安心して暮らせるよう活動を工夫していきます。



女性部の活動を紹介
女性部の和やかな
雰囲気が感じられますよ!



農業のために 地域のために 明日のために

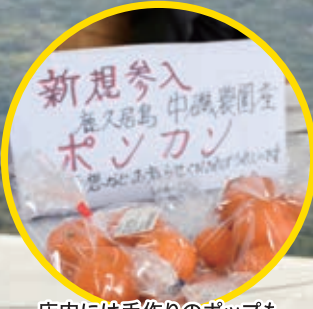
JA共済の地域貢献活動

直売所だより

Vol.11
アグリびぜん

島の恵みを届ける

新たな販路に直売所



店内には手作りのポップも



海を望む島で栽培

今月の出荷者



備前市伊部



備前市伊部1312-8
営業時間:8:30~17:00
定休日:年始
☎0869-64-1105

中磯 曙悟さん (備前市日生町)

なかいそ しょうご
美味ちゃん
天気予報
でも紹介



日生町の鹿久居島でミカンを中心に栽培しています。ミカンが終わると、ポンカン・八朔・オレンジなどの季節が始まります。親の代から引き継いだもので、約50アールの園地で、有機・減農薬を心がけています。

日生のミカンは潮風を受けて育つため、甘みが濃いのが特長です。観光農園としてミカン狩りもしており、毎年多くの方に楽しんでいただいています。

「アグリびぜん」への出荷は今年から始めました。販売の窓口を増やしたいと思い、新たに挑戦しました。直売所から届く売り上げ報告のメールが楽しみです。どれだけ売れたかがすぐ分かり、次は何袋持つていこうかと調整しながら出荷しています。自分のペースで続けられるため無理なく販路を広げられる心強い存在です。

来店された方と直接話ができ、品種の特長やおいしさを伝えられるところに魅力を感じ、選んでくれた方、食べた方の感想が励みになっています。



潮風を浴びて旨味がぎゅっと詰まった柑橘が並び



ふっくらとおいしい「焼あなご」

おすすめは、その季節ごとに並ぶ旬の果物です。特にミカン・ブドウ・イチジクは、地元の生産組合の方々が多く出荷しており、質が高く新鮮なものが並びます。

年明けから春先にかけては、「ポンカン」「不知火」「はるみ」などの柑橘が、1〜2週間ごとに品種を替えながら棚を彩ります。濃厚な味わいで果汁をたっぷり含んでいます。

新鮮な野菜はもちろん、地元の方が手作りするお惣菜やお弁当のほか、漁港も近いので焼あなごや海藻の乾物も人気です。

私のこれがオススメ!



備前アグリセンター
いぬた たかひろ
犬田 隆広 センター長

11 住み続けられる
まちづくりを



組合員との関係強化へ 8地区で運営委員会



意見を述べる総代

2～3月、総代などで構成する統括本部運営委員とJA役員らが出席し、8地区の統括本部運営委員会を開きました。地域の特性・主体性を踏まえた事業展開を経営の柱としており、総代からの意見や要望を集約し、今後の運営に反映させるとともに参画意識を高めるのが目的です。

2025年度の事業概況や自己改革の進捗状況を報告。出席者からは「JA晴れの国岡山として統一した出荷組合を作るべきではないか」といった意見や「耕作放棄地への対策や活用法を考えてほしい」といった要望などがあがりました。

内藤敏男組合長は「組合員との関係強化と経営基盤の強化に取り組んでいく」と話します。



総代からの声に答える内藤組合長

11 住み続けられる
まちづくりを



農業と暮らしの 応援へ組合員特典 LINE提示で米割引

組合員への還元と県産米の安定供給を目指し、組合員を対象に、JA直売所などで取り扱う「農協精米」の割引キャンペーンを実施中です。物価高が家計を直撃する中、准組合員を中心に消費拡大を促し、生産につなげたい考えです。

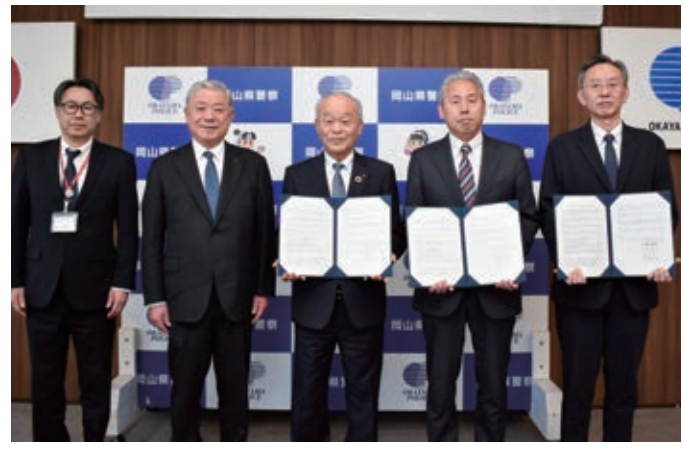
管内20カ所の直売所(勝英地区は購買店舗)で、「農協精米」5kg袋を店頭価格から400円引きで提供。5月31日まで。LINEの組合員証をレジスタップに提示することで割引が適用されます。

担当者は「県産米を選んで食べていただくことで、地域農業を応援してほしい」と話します。(関連記事↓17ページ)



直売所に並ぶ「農協精米」

17 パートナーシップで
目標を達成しよう
**詐欺の未然防止を
県警と協定締結**



2月中旬に開いた締結式で協定書に署名した内藤組会長(中央)

特殊詐欺の被害防止を目指し、J A 岡山・農林中央金庫岡山支店とともに、岡山県警察と協定を締結しました。
近年、従来の特殊詐欺に加え、SNS を利用した投資詐欺やロマンス詐欺の被害が増加。県内では昨年、35億円以上の被害が発生しています。締結により、関係をより強化し、県内の金融機関と速やかな情報共有ができる体制を整え、被害の未然防止や犯人検挙にむけた取り組みを推進します。
当JAでは窓口やATMでの声かけなどにより被害の未然防止に貢献してきました。今後も職員の研修を行うなど

現場力を高め、役職員一丸となって取り組みを進めます。内藤敏男組会長は「地域に根ざした金融機関として、県内の安全安心な暮らしが向上するよう徹底して取り組む」と話しました。

17 パートナーシップで
目標を達成しよう
**イタリア野菜ぜひ食べて
人をつなぐ体験イベント**

2月上旬、矢掛イタリア野菜プロジェクト「第2回テーブルCROSS」を開きました。生産者・シェフ・消費者が、食卓(テーブル)でつながる(CROSS)体験型イベントです。イタリア野菜の販売や有名イタリアンシェフが作る料理の試食、栽培講習会などがあり、地元をはじめ県内外から訪れた多くの人が野菜を通じて交流を楽しみました。
矢掛アグリセンターの田尻直人センター長は「采場者とスタッフ、生産者が食を通じて会話をはずませ、人と人との



種類豊富なイタリア野菜を販売

想いがつながることが、生産者の栽培意欲につながる」と話しました。
イベント以外にも、JA直売所「矢掛宿場の青空市きらり」で販売するほか、公式インスタグラムからも注文を受け付けるなど新たな販路も開拓しています。

8 働きがい
経済成長
**生産者とともに課題解決へ
金道職員(岡山東)が優秀賞**



表彰を受ける金道職員(左)

営農指導員の資質向上や産地の活性化など農業振興計画の達成につながるため、2月中旬に営農指導研究発表会を開きました。営農指導員4人が日頃の取り組みを発表し、優秀賞に赤磐アグリセンターの金道亮二職員が輝きました。
金道職員は酒米「雄町」のブランド化にむけた営農指導の重要性について発表。農家とのつながりを大切に、指導力を発揮する姿勢が評価されました。金道職員は「生産者に寄り添う姿勢を大切に、課題解決にむけて取り組む」と話しました。

9 経営と地域貢献の
実感をにつなぐ
**シキミの収益アップへ
ベテランの技術つなぐ**

加茂シキミ生産組合は2月上旬、栽培・束づくり講習会を開き、ベテランが技術を伝えました。組合では面積や後継者の有無などを把握するマップを作成。技術のマニュアル化や効率化などが評価され、2025年度岡山県農林漁業近代化表彰を受賞しました。今後はドローンを活用する法人の設立や、作業場の整備などで新規参入を呼び込みます。田中洋一郎組会長は「効率よく収益性が上げられるよう協力していきたい」と展望します。



表彰を喜ぶ組合員

生産団地で若手育成 モモの実りへ作業着々

(総社市久代)



動画も
公開中!



1本1本の木と向き合い作業を進める(2月4日撮影)

JAが中心となって総社市に整備したモモの大規模生産団地で、今年の実りにむけた作業が着々と進んでいます。早春のやわらかな日差しが差し込む広い園地では、コツ、コツと、ハサミの音が響き、農家が1本1本の木と向き合っています。せん定・蕾^{つぼみ}や花を間引く^{てきらい}摘蕾・摘花と、作柄を左右する大切な工程が続きます。

大規模生産団地は担い手の育成確保と生産拡大を目的に、国の事業を活用して2019年に整備しました。山裾を大区画に造成した2.5haの園地で、南向きの緩やかな斜面からは住宅地を望み、日当たり良好でかん水設備も引かれています。機械利用や作業性といった条件も揃い、総社も生産組合の農家2人が入植し、16品種200本を育てています。

ここで就農した石川卓武さん(29)は7年目を迎え、「昨年のように日照りが続いてもかん水設備があるから安心。やっとモモづくりを楽しめるようになり、今年はさらに忙しくなりそうだ」と胸を躍らせます。研修を受け入れてきた秋山陽太郎組合長は「農地を用意できれば就農希望者の間口を広げられる。県を代表する特産品として地域全体の愛着と誇りを育てていきたい」と展望します。



出荷者34人に感謝状を贈呈

新見地区の園芸品目各生産部会は2月中旬に大会を開き、19億4700万円の販売目標の達成へ生産意欲を高めました。

地域特産のブドウ・モモ・トマト・リンドウなどを中心に、生産拡大・農家所得増大・地域農業活性化を図ります。

大会には農業者・行政・市場関係者ら約240人が集まり、出荷者34人に感謝状を贈呈し、各共励会で優秀な成績を収めた生産者を表彰しました。

阿新トマト部会の吉村誠部会長は「今後も予測不能な気候に負けず、スマート農業活用や環境変化に適応した栽培技術を確立させ、部会の垣根をこえて切磋琢磨し、産地一丸となり地域農業を次世代へつなげていこう」と士気を高めました。

8 農家がいらぬ経済成長
園芸販売19億円へ一丸
新見の各部会一堂に大会



改装オープンの「晴ればれ井原店」



完成した井原支店

内藤敏男組合長は「より安心して気軽に利用していただける支店にしていく」と挨拶しました。

2日にオープン。

井原支店・井原東支店・井原北支店を統合、旧井原支店敷地内に「井原支店」を新築し、2月17日に落成式を行いました。

地元の総代をはじめ、JA役職員や関係者ら約60人が完成を祝いました。

井原直売所「いばら愛菜館」と農業資材店「晴ればれ井原店」とともに3月

11 日々の暮らしを支えるまちづくり
井原支店が新築オープン
直売所・資材店も併設

ヤマイモ

監修



真庭基幹
アグリセンター
いしい やすはる
石井 裕陽



植え付け: 4~5月
収穫期: 10月下旬から~12月上旬

長い物・とっくり・丸い物など形も多様で、ナガイモ・イチョウイモ・ヤマトイモなどの品種があります。
発芽が地温15度前後で始まり、地上部の生育適期は25度前後。霜にあうと地上部は枯死するので注意しましょう。

1. 植え付け準備

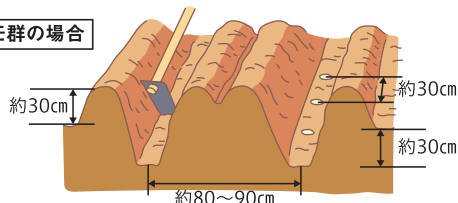
日当たり・排水のよいほ場を選び、植え付け2週間くらい前に元肥を施し、できるだけ深くすき込んでおきます。

完熟たい肥 2kg	1㎡あたり 苦土石灰 50g	ようりん 80g
--------------	----------------------	-------------

2. 畝づくり

なるべく深耕して畝を高く盛土します。

ナガイモ群の場合



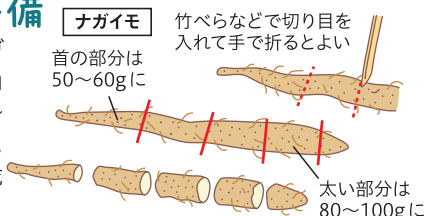
	深さ	栽植距離	
		畝幅	株間
ナガイモ	50~100cm	80~90cm	20~30cm
ヤマトイモ	40~50cm	120~150cm	35cm
イチョウイモ	40~50cm	70~80cm	20~25cm

3. 種イモの準備

無病の種イモを選び、ナガイモで50~100g・イチョウイモやヤマトイモで50~70gの大きさに切ります。種子消毒した後、日陰で乾燥させておきます。

ナガイモ

竹べらなどで切り目を入れて手で折るとよい
首の部分は50~60gに



太い部分は80~100gに

ヤマトイモ

種イモの切り方と大きさを守る。
1つ50~70gに



イチョウイモ

等分になるよう縦に切る。
1つ50~70gに



4. 植え付け

地温が15度以上になった頃が植え付け適期です。種イモを畝に対して横置きにします。覆土は5~6cm。
ヤマイモの植え付け時は肥料を施肥せず、追肥中心の栽培とします。ツルが20~30cmになった頃から8月上旬まで3回ほど施用します。

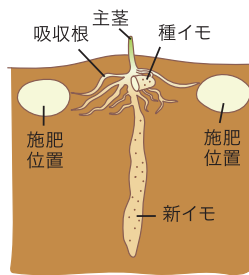
5. 施肥

3回目は草勢をよく見て、葉の緑が濃く、側枝の伸びが旺盛すぎるようなら、量を減らしたり、追肥をしなないなど調節します。葉のしげりすぎは病害虫の発生や、イモの変形につながります。

おすすめ資材

① CDU化成 S682

速効性と緩効性、どちらの成分も含まれるので、生育初期・中後期まで肥効が可能です。



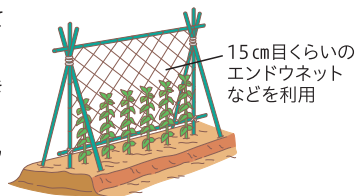
— POINT —

はじめは種イモに含まれる養分で育つため肥料の吸収が少ない。種イモの近くに肥料があるとこたえて腐敗したり新イモの肌を傷つけるので注意する。

1㎡あたり
① CDU化成 S682
80g

6. 管理

1個の種イモから出る芽を1本に芽かきします。イモを十分に肥大させるためには、受光態勢をよくするため、支柱を立てます。支柱は高さ120~150cmくらいで、伸びてきたツルをネットに誘引します。イモの肥大期の7~9月は乾きやすい畑ではかん水を心がけ、除草と乾燥防止を兼ねて敷きワラをします。



7. 収穫

早掘りするとイモからアクが出て色が変わりやすいため、葉が黄色く紅葉し、枯死するまで待ってから収穫します。
ナガイモはとても折れやすく、傷つきやすいので先端の方までしっかりと土を掘り、丁寧に収穫します。

病害虫防除

ネコブセンチュウ

(予防)連作を避け、根菜類の後に作付けしないこと。

対応薬剤

ネマトリンエース粒剤 | 植付け前、1回以内

葉洗病

梅雨や秋など雨の多い時期~茎葉が衰退する月の下旬から増加し始める。葉の表面に黄色の小斑点が発生し、葉脈にそって多角形となる。拡大すると葉が枯死し落葉する。

対応薬剤

ラビライト水和剤 | 収穫前14日前、4回以内とする

炭疽病

梅雨時期、晩夏~初秋に多く発生する。繁茂のはじめに茎葉が褐色の小斑点が発生し、高い湿度で急速に拡大して、黒褐色の大きな病斑となる。

対応薬剤

ダコニール1000 | 収穫30日前、6回以内とする

アブラムシ・ヤマノイモコガ

対応薬剤

トレボン乳剤 | 収穫14日前、3回以内とする

マブリック水和剤20

| 収穫7日前、2回以内とする



農業の使用にあたってはラベルをよく確認し、使用した記録を残しておきましょう。詳しくはお近くのJAにお尋ねください。

ご相談・お買い求めは
お近くの生産資材店舗まで...

直売所の出荷者も募集しています!

地域によって取扱商品や栽培時期などが異なる場合があります。種苗・肥料・農薬など生産資材の選び方や使い方、栽培方法など詳しくは各店舗にお問い合わせください。

バックナンバーはこちら!



サヤエンドウ



●見分け方

さやが美しい緑色で、みずみずしくハリとツヤがあり、先端のひげが白くピンとしているものがよいです。

●主な栄養成分

ビタミンC・B群をはじめ、カリウムや食物繊維を含みます。

＼ サヤエンドウを使って1品 /

サヤエンドウのドーナツ

材料／2人(約6個)分

サヤエンドウ	40g
タマネギ	30g
ホットケーキミックス	90g
溶き卵	30g
牛乳	大さじ2と1/2
しょうゆ	小さじ1/3
白ゴマ	少々
揚げ油	適量

つくりかた

- ① サヤエンドウは洗ってヘタと筋を取り、1cm幅の斜め切りにする。
- ② タマネギは薄切りにする。
- ③ ボウルにホットケーキミックス・溶き卵・牛乳・しょうゆを入れて混ぜる。
- ④ ③に①②白ゴマを入れて混ぜる。
- ⑤ ④をスプーンですくい取り、直径3～5cmの団子状に丸める。
- ⑥ ⑤を約160℃の油で揚げる。
- ⑦ ⑥の全体がきつね色になり、竹串を刺して何もつかなければ油を切って完成。

※1人分あたり

🕒 **調理時間** 20分

🔥 **エネルギー** 304kcal

🧂 **塩分** 0.7g

🥬 **野菜摂取量**

約35g(1日の目標野菜
摂取量の約10分の1)

野菜を手軽に取り入れられるドーナツです。サヤエンドウのやさしい甘みと春らしい彩りが楽しめる一品です。



かげやま

くらしき作陽大学 食文化学部食マネジメント学科 影山ゼミ 考案

LINE
メンバーズカード

ポイント
を
ゲットしよう!

広報誌を読む
獲得ポイント数 1ポイント

こちらのコードを
読み込んで
ポイントゲット! →



理事会だより
令和7年度債権償却ほか

令和7年度2月期理事会を2月26日に開き、次の事項について審議し、承認されました。

【附議事項】第1号議案：令和7年度債権償却／第2号議案：令和8年度内部監査計画／第3号議案：出資口数の減口(組合員の申し出による)

【報告事項】令和7年度1月末事業実績／遊休等業務外固定資産の早期売却にかかる留意事項／子会社の監査結果／リスク管理委員会報告(自主「自店」検査結果(第3四半期)の報告・標的型攻撃メール訓練実施結果報告)／農林中央金庫2025年度第3四半期決算概要／その他(令和7年度年度末手当の要求／貯金金利の変更)

農協功労表彰に役員3人
特別功労に内藤組合長

JA全中による2025年度農協功労表彰を当組合の役員3人が受賞しました。3月6日の全中臨時総会で表彰されました。▼特別功労表彰
▶代表理事組合長・内藤敏男▼功労表彰▶代表理事専務・山部慎一、常務理事▶仁熊直樹

企画室を新設
4月1日より機構改革

総務部が所轄していた経営企画機能

能を独立させ、企画室を新設します。代表理事の直下に位置づけ、経営トップとの連携を強化し、迅速で的確な意思決定や経営戦略の実行すること、組織改革を確実に進めます。総務部には企画課と分離した「広報課」を新たに配置。県民理解の醸成を図るため、広報戦略による情報発信力の強化を進めます。

角谷職員が最優秀賞
中核人材の育成研修会

中堅職員を対象とし、経営学などを半年間学ぶ人材育成研修会に、当JAの職員9人が参加しました。修了レポートで『ワクワクする農業と地域の未来を』データ×現場×専門性で「実装」するJA農業コンサルティング戦略」と題し発表した信用部融資課の角谷雅友職員が最優秀賞に輝きました。2月20日にはJA戦略型中核人材育成研修全国研究発表会へ参加しました。

ハッピーサポーター29人を表彰
笑顔で接客・声かけを

信用窓口担当職員の「ハッピーサポーター」29人を表彰しました。組合員・利用者に寄り添った接客・提案で実績をあげています。



表彰を受けるハッピーサポーター(右)

受賞者は「日々の振り返りや情報共有をしっかり行い、いつも笑顔で声かけていく」と話しました。

渉外担当42人を表彰
ニーズに合うよりよい提案を



表彰を受ける
渉外担当職員(左)

組合員に対する信用・共済事業の相談や提案活動に、前向きに意欲的に取り組む渉外担当職員42人を表彰しました。情報共有や職員間の連携強化につなげています。受賞者は「今後も対話を大切に、誠実に提案活動をしていく」と意気込みました。

所得税・消費税の振替納付日
税務署からのお知らせ

2025年分の確定申告の振替日は、次のとおりです。
○所得税及び復興特別所得税の確定申告分
振替日：2026年4月23日(木)
○個人事業者の消費税及び地方消費税の確定申告分
振替日：2026年4月30日(木)
※振替納付日の前日までに、預貯金残高を必ずご確認ください。
※振替納付日に引落しできなかった場合などの納付手続きについては

国税庁ホームページ「納税に関する総合案内」を、正確に納税に関する総合案内はこちら↓
ご確認ください。



山火事を防ごう
火の取扱いに注意

岡山県では、毎年多くの山火事が発生しており、2015～24年までの平均件数は全国2番目です。原因はたき火・枯れ草焼きなど、人の不注意によるものが占めています。気象情報や林野火災注意報などに留意し、火の取り扱いに注意しましょう。

- ① 火入れや野焼きなどは1人でしない
- ② たき火の後始末は完全に
- ③ 風が強いときや乾燥しているときは火を使わない
- ④ 火入れをするときは届け出を!

JA直売所でお米を買って
県産和牛を当てよう

令和の家計応援キャンペーン
おかやま 岡山県産和牛

からの! 米 肉

キャンペーン期間
2026年
3/1-5/31

おかやま米を食べて
岡山県産和牛肉を当てよう!

「令和の家計応援キャンペーン」
について詳しくはこちら



組合員限定 「資産評価」「生前贈与」「事業継承」など相続のお悩み相談

相続税務相談会

相談
無料

事前
予約



開催のお知らせ

税理士が個別にアドバイスさせていただきます。
(JA職員も立ち合います)

日時：2026年 **4**月**14**日(火)10:00～15:00

2026年 **5**月**12**日(火)10:00～15:00

(12:00～13:00を除く／一組最大30分まで)

場所：JA晴れの国岡山 本館2階 会議室

倉敷市玉島八島1510-1

※遠方の方は各統括本部からテレビ会議で実施できます。

詳細とご予約は

JA晴れの国岡山ホームページから

お問い合わせは総務部(086-476-1830)まで



組合員のみなさまへ

住所など変更はありませんか?



- ・ 組合員のご家族が亡くなられた方
- ・ 農業をやめられた方
- ・ ご結婚などで名前が変わった方
- ・ 引っ越しをして住所が変わった方

上記に当てはまる方は書面で変更手続きをお願いしております。届け出事項に変更がありましたらお近くの支店窓口へご相談ください。

ご家族のみなさまの組合員加入もぜひご検討ください。
お申し込み・お問い合わせはお近くの支店まで。

※資格要件を満たし、JAで承認後に正式加入となります。組合員の詳しい内容は右記コードをご覧ください。



組合員応援! LINE組合員証でもっとお得に

LINE組合員証の提示
でJA直売所などで販売の「農協精米」5Kgを

通常価格の
400円引き

【期間】2026.2.2(月)～2026.5.31(日)



利用条件など詳しくは上記コードをご覧ください

こちらも継続中!

組合員証のご利用で毎週水曜日
JA給油所で **給油5円/ℓ引き!**



LINE登録はこちらから▶▶▶

ID @924kyalx



予告なく変更する場合があります



読者のみなさまから
お寄せいただいた
イラストやお便りなどを
ご紹介!!



庭に春を告げる花「クロッカス」が
咲いていました

勝央町・太陽さん



今年も梅の花が咲いています

備前市・しんちゃんばあばさん



コバルトブルーの宝石のような
実を見つけました

井原市・AMIさん

▼先月号の「丁A共済小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール」の作品に感動しました。

倉敷市・小田範夫さん(50代)

▼広報誌を読んで、みなさんが元気に楽しく農業に取り組んでいる姿に共感しました。

浅口市・三宅久美子さん(70代)

▼広報誌の「みんなのひろば」に掲載されているお便りを読むと、気持ちがホッコリします。

津山市・メイさん(60代)

▼先月号の若手生産者の記事を読み、農業を継ぐことを選び、義父と励まし合いながら頑張っているのが素敵なお話で感動しました。

美作市・桃花さん(40代)

▼「とびきりフェイス」に掲載されている子どもたちの笑顔が最高です。

赤磐市・ちゃくりんさん(60代)

あぜみち川柳

鹿よけの ピンクあざやか キヤベツ畑
サトチャン

名前見て 野菜手にとる 直売所
百姓よっちゃん

梅の花 満開になり 春そこに
コッパラーズさん

雪溶けて 種まく楽しみ 春野菜
矢内州子さん

ぶどう桃 剪定すませ 芽吹き待つ
おむすびころりんさん

雑草も 雪にも耐えた 黒大豆
那岐山大好きさん

寒い朝 ふきのとう採り 心は春
かんこさん

テーマ

日頃の農作業で感じる想い、家庭菜園や直売所の楽しみやエピソード、農の風景など。

※作品は楷書で書いていただき、漢字にはふりがなを「記入ください」。

みなさまからの「写真」「イラスト」

「お便り」「川柳」を

大募集しています。

「ご意見」「感想」もお待ちしております!!

クロスワードパズル

正解者の中から抽選で20人の方に直売所などで使える「農協全国商品券(2,000円分)」をプレゼント!!

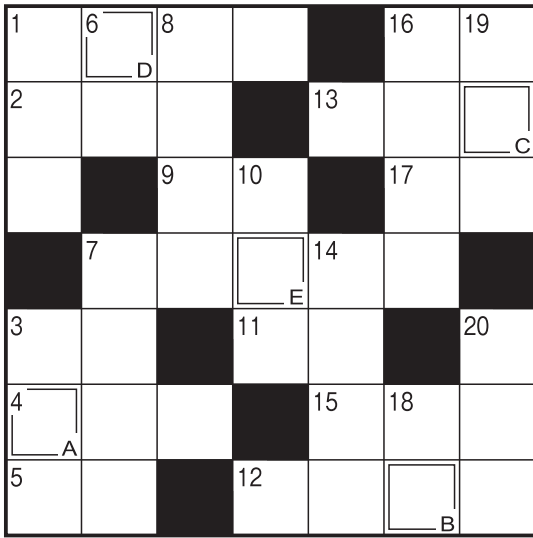
二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？(出題/ニコリ)

タテのカギ

- 1 潮干狩りでよくとれる二枚貝
- 3 ガソリンは——性の高い液体です
- 6 海に浮かべて目印にします
- 7 ゴロゴロゴロ…ピカッ!
- 8 工事が終わり建物が完成すること
- 10 相撲を取る人のこと
- 14 連載ではありません
- 16 伊勢神宮は——と外宮に分かれています
- 18 白神山地を象徴する木
- 19 トランプのJ、Q、Kのこと
- 20 唱歌「春の小川」に出てくる花

ヨコのカギ

- 1 ナノハナと呼ばれることもあります
- 2 ——は流流仕上げを御覧じろ
- 3 若いメンドリが生んだものには二つ入っていることも
- 4 桜が咲く時期ならではのレジャー
- 5 竿や糸、針を使って楽しみます
- 7 津軽、関門、ドーバーといえば
- 9 セロリやミツバは——科の野菜です
- 11 うわ、服にコーヒーの——がついちちゃった
- 12 北口榛花選手の専門種目
- 13 お金を入れます。春に買うと「お金で張る」から縁起がいいそうです
- 15 ——転換しようと散歩に出た
- 16 田植えに向けて育てます
- 17 酔っぱらって巻く人もいます



クロスワードパズル
先月号(3月号)の答え
「**チラシズシ**」
応募総数
1,908件

応募締切

2026年4月15日(水)必着

お便りなど投稿・プレゼント応募方法

LINE・ハガキ・応募フォーム・FAXのいずれかに必要事項をご記入いただき、ご応募ください。

ハガキ

〒713-8113
倉敷市玉島八島 1510-1
JA晴れの国岡山 広報課
「晴ればれ」係

- 郵便番号・住所
- 氏名
- 電話番号
- 年齢
- パズルの答え
- よかったコーナー(複数回答可)
- ご意見・ご感想

LINE

応募フォーム

スマートフォンから簡単応募

JA晴れの国岡山 晴ればれ応募

FAX

086-476-1840

あとがき

本誌作成中の2月、取材先で梅の花が咲いているを見つけました。寒さの中に感じる春の兆しがいずれ、季節の移ろいを感じるひとときでした。みなさまも身近な季節の発見がありましたら、ぜひ「みんなのひろば」でお聞かせください!(矢部)

本誌掲載の商品は総額表示で表記しています

※誌面の都合上、投稿いただいたすべてを掲載できない場合がございます。ご了承ください。

※個人情報、投稿コーナーへの掲載や賞品発送、JA事業運営以外では使用いたしません。

※投稿写真は、人物など被写体に関する肖像権などに触れる可能性のないものに限り、また、可能な限り写真の説明をご記入ください。

※ペンネームをご希望の方は、ご自身のペンネームを必ず明記してください。

※投稿いただいた作品は返却いたしません。

※「みんなのひろば」の掲載がプレゼントの当選とは限りません。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※掲載を希望されない場合はその旨を明記してください。



しびきり フェイス!

子どもたちの「食と農」の体験を
笑顔とともに紹介します

つきたて、あつあつ!

自分で作ったおもち

は
ふわふわでおいしかったよ



アグリキッズで、もちつき体験をしました。(総社市)

各SNSでも旬な情報を発信中!!

